

都道府県名：奈良県	市町村名：桜井市
1. 活動名 「NPO法人山野草の里づくりの会」による里山林の保全活動と自然保護啓発活動	
2. 取組の背景、目的 桜井市の北東部に位置する里山林において、荒廃した里山林を整備及び利活用を行うことにより、里山林の景観や機能を回復させるとともに、山野草の里を目指している。	
3. 実施主体 県、市町村：特定非営利活動法人、森林ボランティア団体へ事業費補助 特定非営利活動法人、森林ボランティア団体：里山林の整備を実施 森林所有者：特定非営利活動法人、森林ボランティア団体への整備場所の提供	
4. 取組の概要 平成18年度より、県の里山林機能回復整備事業の補助を受け、桜井市の三谷地区で、荒廃した里山林の整備を行っている。耕作放棄田畑、放置山林等の雑木・雑草を取り除き、山野草の自生地も整備・管理を行っている。農地、山林、ため池などを広範囲に再生し、貴重な自然生態系を再生する取組も行っている。 実績は、H18年度0.2ha、19年度0.25ha、20年度0.25ha、21年度0.25ha、22年度0.36ha（予定） 里地・里山林の保全活動と自然保護啓発、それらを生かしたまちづくりを柱に整備活動に取り組んでいる。	
5. 支援事業 平成18年度～ 里山林機能回復整備事業（県単独）	
6. 取組等についての成果や課題 現在までの取り組みにより、シュンランやササユリ、オオバノトンボソウなどの貴重な山野草が蘇っている。また、復旧のみではなく活用に力をいれており、具体例では、伐採した木や竹は炭焼きやイベントでの自然物クラフトの材料などに利用している。整備した山では「子ども探検基地」としてツリーハウスやブランコを設置し、子どもの自然体験や保育所等の園外保育に利用している。 今後の課題としては、一度復旧した山を美しい姿で維持したいとの思いで草刈り等の保全活動を行っているが、管理面積が年々増大することにより、ボランティアとして、管理面積の増加にどう対応すれば良いか苦慮している。	

写真添付欄



写真の説明欄

ビオトープの観察をしている様子



シニア自然大学校教育実習生を受け入れ、山野草の調査、保全活動を実施している様子



雑木山の不要木の除伐と笹刈りをしている様子



環境教育の一環で地元の小学生を現地に招き、タケの伐採を体験学習している様子